

6. 自己資本の状況

1. 自己資本比率の状況

当JAでは、多様化するリスクに対応するとともに、組合員や利用者みなさまのニーズにお応えするため、財務基盤の強化を経営の重要課題として取り組んでいます。そのため、内部留保に努めるとともに、不良債権処理及び業務の効率化等に取り組んだ結果、平成30年3月末における自己資本比率は、10.62%となりました。

2. 経営の健全性の確保と自己資本の充実

当JAの自己資本は、組合員みなさまの普通出資によっています。

○普通出資による資本調達額

項目	内容
発行主体	広島市農業協同組合
資本調達手段の種類	普通出資
コア資本に係る基礎項目に算入した額	6,724百万(前年度 6,339百万)

当JAは、「自己資本比率算出要領」を制定し、適正なプロセスにより正確な自己資本比率を算出して、当JAが抱える信用リスクやオペレーショナル・リスクの管理、及びこれらのリスクに対応した十分な自己資本の維持を図るとともに、内部留保の積み増しにより自己資本の充実に努めています。

また、平成19年度から、信用リスク、オペレーショナル・リスク、金利リスクなどの各種リスクを個別の方法で質的または量的に評価し、リスクを総体的に捉え、自己資本と比較・対照し、自己資本充実度を評価することにより、経営の健全性維持・強化を図っております。

とりわけ、財務基盤強化のため、第7次中期経営計画において出資増強運動に取り組んでおり、平成29年度末の出資金額は、対前年度比384百万円増の67億円となっています。